

# Lead

All roads lead to the future リード



高知大学  
Kochi University

コミュニケーションペーパー

2018 夏号  
Summer

No. 026



〈特集〉

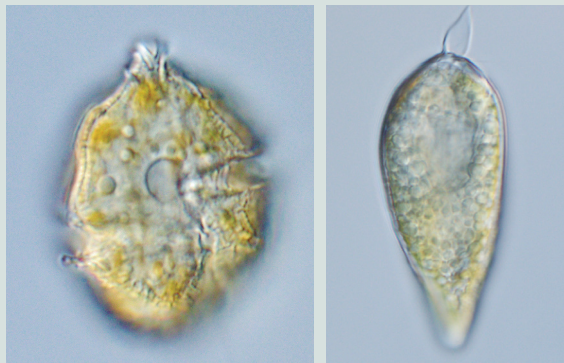
〈特集1〉

## 赤潮と海洋ウイルスの 不思議な関係

〈特集2〉

高知県の教育課題の解決を目指す

## 教職大学院



まなびの時間

共通教育 よさこい概論

キラ星高知大生

アフリカ大陸最高峰

キリマンジャロに高知大学生が登頂!

Action! 地域×高知大学

アントレプレナーシップ

「つかめ! 起業家精神!」

高知大学ニュース





# 赤潮と海洋ウイルスの 不思議な関係

高知大学では国家的巨大プロジェクト、  
新学術領域研究「ネオウイルス学」に参加しています。  
その計画研究課題の1つ、海洋ウイルス研究のまとめ役、長崎慶三教授に、  
赤潮とウイルスの関係などについてお聞きしました。

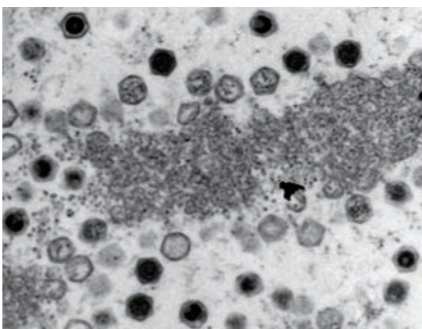
## スプーン1杯の海水には 数億のウイルスが！

わずかスプーン一杯の海の水。  
一見したところ、その中には生物  
など存在していないように見え  
ますが、これを電子顕微鏡で観察  
すると…。

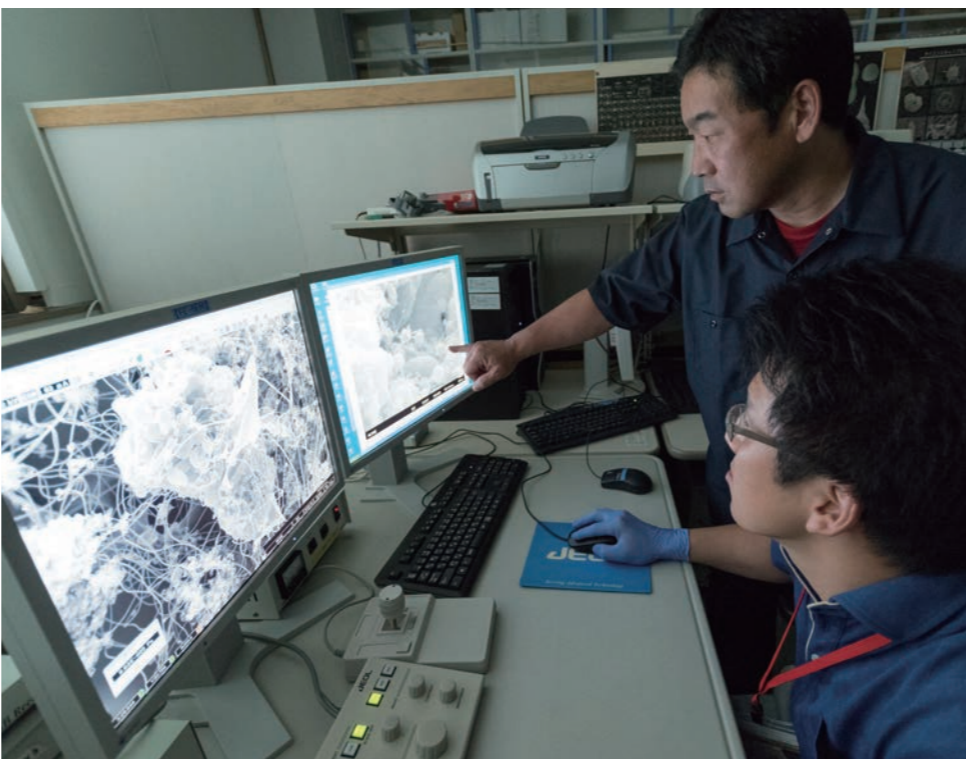
「内湾域では、海水1ml中に、数  
千万から数億個のウイルスが浮遊  
しています。さらに、世界の海水中  
には、10の31乗という想像もでき  
ない膨大な数のウイルスが存在し  
ます。これまでのウイルス学で知  
られているのは、そのうちのほん  
の一部に過ぎません」

こう話すのは、農林海洋科学部  
海洋生命科学コースの長崎慶三教  
授。25年以上にわたって、海洋ウイ  
ルスの役割と存在意義に関する研  
究に取り組んでいます。

細菌などの微生物は、周囲の栄  
養を取り込み、分裂して殖えてい  
きます。しかし、ウイルスは自分



プランクトン細胞内で増殖するウイルス粒子



最新の走査型電子顕微鏡でウイルス感染細胞を  
観察する長崎教授と高野義人特任研究員



だけでは殖えることができません。  
感染できる相手にとりつき、自分自  
身の設計図を打ち込み、その細胞を  
だまして、自分自身を複製してもら  
うことで増殖していくのです。イン  
フルエンザやかぜは、このようにし  
て、ウイルスが体内で増殖すること  
によって発症します。

「ウイルスには病気を引き起こす  
悪者というイメージがあります。実  
際、これまでの研究の多くは、病気  
と関連したものでした。しかし、ウ  
イルスのほとんどは、人間には感染

せず、病気とも無関係。近年、こうし  
た病気とは関連のないウイルスの  
研究が注目されつつあります」

2016年には、国家的研究プ  
ロジェクトである新学術領域研究  
「ネオウイルス学」がスタート。ウ  
イルスを地球生態系の構成要員  
ととらえ、生物の生命活動や生態  
系にどのような影響を与えている  
のか、日本中の研究者がさまざま  
な角度からアプローチしていま  
す。高知大学は京都大学や佐賀大  
学、JAMSTEC(海洋研究開発

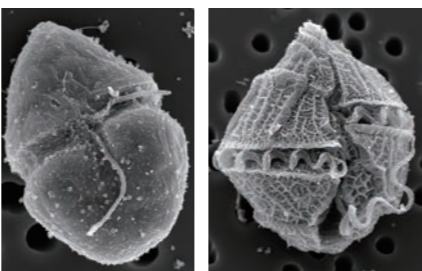
機構、FRA(水産教育・研究機構)  
などと一緒に、海洋ウイルスの分  
野を担当。長崎先生はこのチーム  
のリーダーを務めています。

## 赤潮プランクトンに感染 したウイルスを発見！

長崎先生が高知大学に赴任した  
のは2016年。それまでは上述  
のFRAに所属し、赤潮の原因と  
なるプランクトンを殺すウイルス  
について研究していました。赤潮  
とは、微小なプランクトンが大量  
に増えて、水の色が変わって見え  
る現象。いろいろな種類のプラン  
クトンが原因となり、大きな被害  
を出します。

1992年、広島県の研究所で、  
瀬戸内海の赤潮プランクトンを観  
察していた長崎先生は、ある発見  
をします。プランクトンにウイル  
スが感染していることを見つけた  
のです。「ウイルスの世界って、な  
んで不思議なんだ。美しいとさえ  
思い、本当に感動しました」と当時  
のことを思い出します。

長崎先生は研究成果をまとめ  
て、日本水産学会で発表しました。  
プランクトンの細胞に入り込み、  
爆発的に増殖するウイルス。その  
姿を初めてとらえた電子顕微鏡写  
真が次々に映し出され、会場はざ  
わつきます。発表後、聴衆に対し  
て座長がやや興奮気味に「さあ、  
皆さん、この興味深いデータ



ウイルスの宿主となるプランクトンの  
走査型電子顕微鏡像

はドローンを飛ばして、上空から  
赤潮を探索する計画もあるそう  
です。

「高知大学は現場まで近く、海  
洋ウイルス研究に非常に適した  
環境にあります。このメリット  
を利用しない手はありません」と  
長崎先生は高知大学の優位性を  
説きます。

海水や淡水のウイルスを研究  
している大学は全国でも少なく、  
ほかには数大学しかありません。  
本学では一昨年、遺伝子の塩基配



赤潮調査の新兵器、防水型ドローン



実習指導風景

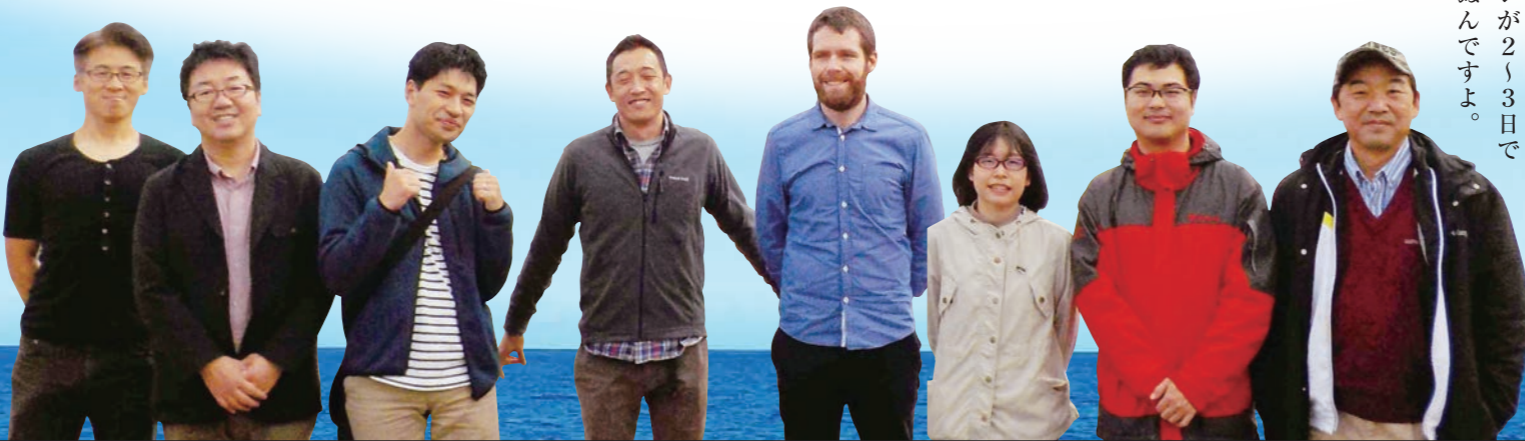
## ウイルスは宿主を完全 には駆逐しない？

赤潮プランクトンとウイルスの  
関係を発見してから、長崎先生は  
より一層、研究に没頭します。

「どんな暑い夏のさなかでも、虫  
好きな子供は、平気で虫取りに没  
頭しますよね。私も同じで、研究所  
の仲間と一緒に、新しいウイルス  
を探し求めました。ウイルスを感  
染させると、宿主の赤潮プランク  
トンが2〜3日で  
死ぬんですよ。」

について、とことんディスカッショ  
ンしましょう！」と呼びかけてく  
れたそうです。

「すごくうれしくて、背中がぞく  
ぞくしました。自分の研究に興味  
を持ってもらえるのは、こんなに  
幸せなことなんだと。あの瞬間の  
ことは忘れられません」と長崎  
先生は研究者冥利に尽きる体験  
を語ります。



これは面白いと熱中しました」  
世界に向けて論文もどんどん発  
表。やがて、長崎先生らの研究チ  
ームは「Algal Virus  
Hunters(藻類ウイルスの狩人  
たち)」と呼ばれるようになりま  
した。

研究を続けるうちに、ウイルスは  
宿主のプランクトンを完全に駆逐す  
るわけではない、ということも判明  
ある。プランクトンは感染後、細胞分  
裂しながら1000個まで達したと  
き、そのうちの997個が死滅しま  
した。しかし、残りの3個はウイル  
スに抵抗できるバリアを張り、その後  
ほとんど殖えていったのです。

「ウイルスと宿主は完全に敵対  
する関係だと思われがちです。し  
かし、そうではなく、両者はもつと  
マイルドな、お互いを許し合うよ  
うな関係なのかもしれません。ウ  
イルスと宿主の共存のメカニズム  
は、ネオウイルス学のテーマの1つ  
でもあり、非常に興味深いですね」

## 赤潮研究のメッカである 浦ノ内湾がフィールド

長崎先生が高知大学に赴任後、  
足繁く通っているフィールドは、  
本学の海洋生物研究教育施設があ  
る浦ノ内湾です。

「じつは、浦ノ内湾は赤潮の研究  
者にとって、とても興味深いフィ  
ールドです。というのもこの小さな湾  
では、毎年、いろいろな種類の赤潮  
が次々に発生するのです。以前二  
枚貝を殺す新種のプランクトンが  
発見され、研究者の間で注目され  
たこともあります」

赤潮プランクトンの採集は、多  
くの場合、ボートに乗って行いま  
す。通常、その航跡は白いのです  
が、赤潮が発生している海域では、  
茶色い泡が湧き上がってくるそ  
うです。そうした場所でもボートを  
停めて、バケツやホースで水ごと  
すくったり、プランクトンネット  
を曳いたりして採集します。今年

教育研究部 自然科学系  
理工学部門 教授

なが さき けい ぞう  
**長崎 慶三**

岡山県出身。京都大学農学部卒業。農学博  
士。水産庁南海区水産研究所で赤潮とウ  
イルスの研究に没頭。その後、マネージメント部  
門に異動するが、研究の世界が忘れられず、や  
むなく退職。その後、高知大学に赴任。好きな  
物は潮溜まり、ハイボール、昭和レトロ、アルベ  
ジオとドロップショット。



# 理論と実践の融合により、高知県の教育課題の解決を目指す 教職大学院

高知大学は2018年4月、教職大学院を開設しました。正式名称は「総合人間自然科学研究科 教職実践高度化専攻(専門職学位課程)」。

どういった特徴の大学院なのか、専攻長の柳林信彦先生に話を聞きました。

## 教育学専攻とは違い 高度な実務家を養成

「高知大学の大学院には以前から、教育学専攻があります。新たに設置された教職大学院は、従来の専攻とどう違うのでしょうか？」

教育学専攻は研究者養成を主な目的とするもので、理論をベースに教育を研究し、実習がなく、修士論文を課されます。これに対して、教職大学院は法科大学院などと同じ「専門職大学院」。研究者ではなく、高度な実務家を養成することを目的としています。このため、修士論文がない一方、相当な量の実習があります。

「どのようなコースを設けているのでしょうか？」

「学校運営コース」「教育実践コース」「特別支援教育コース」



「総合実践力科目群のなかにも、いかに高知らしい、ユニークなカリキュラムがあるそうですね。」

「土佐の皿鉢ゼミ」という科目を設けています。高知の郷土料理で、大皿に多彩な料理を盛り込み、大勢で食べる皿鉢料理をモチーフにしたものです。一言でいえば、合同ゼミ発表会に近い形。担当教員だけではなく、学内の他の教員、県の教育委員会や実習校の先生方など、教育に携わるいろいろな人に来てもらい、みんなで大きな皿鉢に乗ってもらうような感じで、院生の研究について検討します。学びを一層深く、多様にすることを狙った試みです。

## 高知県の教育に 徹底的にこだわる!

「他にはどういった特色がありますか？」

徹底的に高知県の教育にこだわっているところです。授業科目のなかには、「高知県における教員の実践的力量形成」「高知県の学校教育をめぐる現代的課題」といったように、高知県での教育を深め

## 高知大学教職大学院のコース

### 学校運営コース

学校全体としての組織的な取組をリードすることができる高度な実践的指導力を育成し、学校の教育活動を効果的にマネジメントして実践できる力量を備えた中核の中堅教員を養成する。

#### 専門科目(例)

- ・学校管理職の役割と実践
- ・学校に求められるリスクマネジメント
- ・高知県の地域教育リソース開発
- ・学校組織開発演習

### 教育実践コース

全ての子どもたちに質の高い学びを保證することができる高度な実践的指導力を育成し、学級経営や学習指導に関する高い専門性と実践力を備えた中核教員を養成する。

#### 専門科目(例)

- ・学級経営の開発の実践
- ・理科学習指導法の理論と実践
- ・授業方法演習(数学、英語 等)
- ・授業デザイン

### 特別支援教育コース

個別の障害像に即した実態把握に基づき個別の指導計画を立案し、それを実践したのちに、適切な教育評価により個別事例の臨床像に対する指導の効果を検証する能力を有する中核教員を養成する。

#### 専門科目(例)

- ・特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築
- ・限局性学習症指導の理論と実践
- ・特別支援教育演習

## 柳林 信彦

教職実践高度化専攻長

やなぎ ばやし のぶ ひこ

宇都宮大学教育学部卒業。筑波大学大学院人間総合科学研究科教育学専攻博士課程単位取得満期退学。修士(教育学)。2008年、33歳で高知大学に赴任。「高知大学の教職大学院で、多分、日本一のことか1つあります。それは専攻長の若さ(笑)。新しいことをいろいろ試してみようと考えています」



の3つがあります。「学校運営コース」では、学校の教育活動をマネジメントする中核的な教員を養成します。ミドルリーダーといわれる主幹教諭や主任の先生方が、このコースの対象です。

「教育実践コース」は教育実践に関して、高度な知識と技術を身につけてもらうためのコースです。各教科の学習指導に加えて、生徒指導や学級経営なども含まれます。

「特別支援教育コース」では、特別支援学校における専門的な知識を持った教員の養成はもちろん、一般の学校でのユニバーサルデザインに基づく教育を提供できる教員も養成します。

どのコースでも、ほとんどの授業を研究者教員と教職などの経験のある実務家教員が共同で担当するので、幅広い角度から学ぶことができます。



るものを準備しています。これが「理論と実践の融合」と並ぶ、大きな特色の1つです。

「学びのなかに、高知県の実情に合った科目があるわけですね。」

教育現場から派遣されてきた院生が研究する課題は、在職している勤務校の具体的な課題でもあります。院生の実習は勤務校で行われ、本学の教員も出向いて実地指導を行います。この試みによって、勤務校の課題、すなわち高知県の教育の課題が解決に向かうという仕掛けです。

「高知県としっかり連携しているそうですね。」

教職大学院のスタートに当たって、高知県教育委員会に高知大学連携担当チーフという職が設置され、本学に常駐いただいています。チーフは現場のニーズを熟知した立場から、我々教員は大学の立場から実習を指導します。現職の先生でもある院生は、入学前年は課題を考える準備期間とし、大学院での2年と合わせて、3年派遣プログラムで学んでもらいます。

## 高知県の教育を支える 中核的人材を育てたい

「他大学との連携についてはどうでしょうか？」

香川大学、愛媛大学、鳴門教育大学との間で、連携事業に関する協定を結んでいます。いま進んで

「一定員は何名でしょうか？」

全コース合わせて15名です。このうち、高知県の教育委員会から派遣された先生が10名程度、学部を卒業してそのまま大学院に来る学生が5名程度と想定しています。「学校運営コース」だけは、その性格上、現職の先生だけを対象にしています。

## 最大の特徴は 理論と実践の融合

「カリキュラムの特徴を教えてください。」

高知大学の教職大学院は、国立大学では最後発です。長期間準備した結果、他大学にはない、さまざまな特徴を盛り込むことができました。

カリキュラムは「理論と実践の融合」がキャッチフレーズ。通常、教職大学院のカリキュラムは「共通科目」「専門科目」「実習科目」で構成されます。本学ではこれらに加えて、他大学ではほとんど見られない「総合実践力科目」を設けています。

理論を学ぶだけではなく、実習で実践するだけでもない。実習で学んだことを理論で考え、課題解決に向かう。あるいは、理論的に学んだことを実習で試してみる。総合実践力科目では、このように理論と実践を融合させ、自らの成長につなげていきます。



いる事業の1つは単位互換。各大学で足りないところを協力し合い、互いに埋めていこうというものです。もう1つは、新しい学びを得るための院生の相互交流。こうした取り組みの実施に向けて、本学はいま、準備を進めているところなんです。

「どういった人材を養成していきたいか、意気込みを聞かせてください。」

本学の教職大学院を出た先生には、学校経営や学習指導、特別支援教育などの専門家になるだけではなく、高知県の教育現場の中核的存在になってほしいですね。卒業生は毎年約15名しかいませんが、ここで学んだことを周りの先生にも広め、何十人、何百人の先生方に波及効果を与えられるような人材を養成したい。また、学部を卒業して入ってきた学生には、まさに即戦力として、高知県の教育現場で活躍してもらいたいですね。



# よさこい 概論

## 体系的によさこいを学ぶ

高知の夏を盛り上げるよさこい祭り。そのエネルギーは今や高知にとどまらず、全国200カ所以上で開催され、海外にまで波及しています。このよさこい祭りを学ぶ「よさこい概論」が今年度、開講。講義を担当するのは、学生時代に札幌市の「YOSAKOIソーラン祭り」の立ち上げに参加するなど、よさこい祭りとのかわりが深い川竹大輔先生です。

「高知大学は全国の大学の中でよさこいのチーム数が一番多いのですが、よさこい祭りを体系的に学ぶ場がありません。そこで、よさこい祭りの誕生から変容の歴史、また全国への広がりとその背景を理解するための講座を立ち上げました」

受講している学生は約170名。その3分の1は、よさこいを全く知らない学生でした。そのために、そもそもよさこい祭りとは何なのかという説明から講義は始まったそうです。

「共通教育科目なのですが、3、4年生の履修が目立ちます。よさこいに参加した経験から、関心があって受講を決めたそうです。学生にとって興味深いテーマなのだと思います」

よさこい祭りの成り立ちなどの説明のほか、実際の映像、あるいは実物の鳴子などを使って講義が行われています。

「高知県出身の学生からも『知っているつもりが、知らないことがたくさんあった』という感想が返ってきています。例えば戦後、よさこい祭りが経済復興を期待されて誕生した祭りだということなど、授業で毎回課しているレポートの中で新しい気づきがあることを語っています」

## よさこいに学生としてできることは？

講義では、よさこい祭りに関わるさまざまな人を講師に招いた講義も行われます。



### PROFILE

地域連携推進センター／特任准教授

川竹 大輔

高知県出身。東京大学教養学部(文化人類学)卒業。朝日新聞社勤務、津市議会議員を経て帰高。高知県庁特別職事務秘書、安芸市役所助役、高知県中小企業家同友会専務理事などを経て、2016年に高知大学に着任。「高知大学はよさこいが始まる8月9日から一斉休業に入ります。学生も教職員もよさこいを満喫できる環境なんですよ(笑)」



先生に聞きました!

## 高知ならではの講義が誕生！

### 共通教育 よさこい概論



# アフリカ大陸最高峰 キリマンジャロに 高知大学生が登頂!

# キラ★星 高知大生

学内外でキラッと光る高知大生を  
ピックアップ!

## 現地ツアー会社とメールで交渉、 企業の協賛も得て出発

高知大学の学生が今年2月、タンザニアにあるアフリカ大陸最高峰、標高5,895mのキリマンジャロ登頂に成功しました。この快挙を成し遂げたのは、農林海洋科学部3年生の桶谷昌宏さん。「人と違うことをやってみたい」がモットーで、入学以来、北欧や東南アジアなどへの一人旅を敢行してきました。

2年生の時、次はタンザニアに旅して、本場のコーヒー農園で香り高いキリマンジャロを飲んでみたいと思いついた桶谷さん。「栽培場所はキリマンジャロの標高2,000mほどのところだとかだったので、どうせなら頂上まで登ってみようと思えました」と振り返ります。高校時代、山岳部に所属していましたが、大学入学後は登山経験なし。それでも、「登山家でもなく、体力に自信があれば登頂可能とのこと、自分も何とかいけるのでは」と突き進みます。

キリマンジャロ登山という目標を設定後、桶谷さんは精力的に動きます。インターネットで現地情報を調べ、安全そうなツアー会社を探し、できるだけ安い費用で行けるようにメールでやり取り。さらに、県内のテレビ局を訪問し、自ら撮影する映像を番組で流してもらええるように交渉。そのうえで、アウトドア用品メーカーモンベルの協賛を取り付け、登山用品などを提供してもらいました。

## 高山病に苦しみながらも、 山頂で感動的な御来光を堪能

キリマンジャロは険しい岩山ではなく、基本的に歩きやすいのですが、容易に登頂できるわけではありません。頂上付近はマイナス10℃まで気温が下がると、高山病の危険性も高く、ときには遭難も発生する危険な山です。桶谷さんはガイド1名、ポーター3名、シエフ1名にサポートされて、標高1,800mの登山口から歩き始めました。

初日は標高2,700mの山腹にある山小屋で宿泊。翌日は3,700mの山小屋を目指しましたが、3,500mあたりから、息苦しさを感じるようになりました。「高山病になったんです。普段の疲れとは全然違ってました」と桶谷さんは話します。次第に苦しさが増すなか、翌日には4,600mの場所にある最後の山小屋へ。短めの休息を取った後、山頂で御来光を見るため夜の11時半頃に出発しました。「山頂まで1,300mを一気に登っていきました。高山病がほとんどひどくなるし、とてもきつかった。休んだら意識を失うから、休憩なしで歩



きつばなし。高山病で食べものをほとんど受け付けなくなったこともあって、本当につらかった」やっこのことで頂上にたどり着くと、桶谷さんの登頂を待っていたかのように、ちょうど御来光が昇ってきたそうです。「大きな氷河に朝日が当たり、オレンジ色にきらきら反射して、とてもきれいでした。無茶苦茶しんどかったけど、達成感がありましたね」と目を輝かせます。

タンザニアでは野生動物を見物するサファリなどの観光も楽しんだ桶谷さん。コーヒー農園も訪ね、念願の本場のキリマンジャロを味わったそうです。コーヒーそのものの風味よりも、「練乳が入っていて、日本とは全然違う味」だったことに異文化を感じたとか。

「今回の登山で、自分にすごく自信が持てたような気がします。これからは世界各地に足を運んで、いろいろな視点でものを見てみたいですね」と抱負を語る桶谷さん。「でも僕が本当に大切にしているのは、山に登ったという結果ではなく、何事もやってみようということです。勇気をもった行動は確実に自分の記憶に残り、それは人生の良い経験となります。もしそれが仮に失敗しても恐れることはありません。またイチから始めればいんです。」と微笑んでいました。

農林海洋科学部 3年  
おけ たに まさ ひろ  
桶谷昌宏さん

難しそうなことでも、思い切ってやってみたら成功につながる、自信になりました。これからも、どんどん新しいことに挑戦したいですね!





果敢にチャレンジする  
人材を育てる場

起業家は、高知大学の2人の先生によって立ち上げられた、学生の起業を支援するクラブです。しかし、立ち上げにかかった地域連携推進センターの吉用武史先生によると、「起業家は起業家を育成する場ではありません。起業家精神の醸成に重きを置いており、学生たちにはこの精神を学んでもらいます」と話します。同じく地域協働学部の須藤順先生が話を続けます。

「起業家だけが起業家精神を持っているというのは昔の考え方です。今の時代、どのような組織に入ろうが、どのような立場になろうが、起業家精神をもって新しいことにチャレンジするマインドが欠かせません。チャレンジすることに対して、果敢に向き合っていく人材を育てようというのが、起業部の大前提です」

起業部が誕生したきっかけは、2015年度、高知大学が高知工科大学や高知県立大学、高知工業高等専門学校とともに、文部科学省の「地知の拠点大学」による地方創生推

進事業(COC+事業)に申請し、採択を受けたこと。地方創生に対して大学が具体的に貢献する事業で、学生の県内定着や雇用の創出を目的に若者の起業支援が盛り込まれています。その具体的な方策が起業部でした。

「起業部設立にあたり、相談したのが須藤先生。ビジネスとして社会問題を解決していく起業家の育成が研究テーマで、起業の経験もある点でジャストフィットの人選でした」と



吉用先生。須藤先生は起業部のプログラムの構築や、メンターといわれる外部指導者とのネットワークをつなぐことなどを担当しています。

起業部は2017年3月にスタートしました。講義ではなく、部活のようなスタイルで進められます。

「誰かに決められたのではなく、自分の意志で参加してほしいということから、部活的な活動にしました。これまでの起業家育成は、知識の習得に重点が置かれていましたが、成果が出ていません。ですから起業部では、知識のインプットはしないようにしています。起業で重要なのは、何かチャレンジしたいことがあったとき、本気で応援してくれる仲間がそばにいないかどうか。起業部は、仲間づくりの場にもしたいと考えています」と須藤先生は起業部の目的を話します。

起業部の活動に加えて、起業に向けたより多様なメニューを受けたいと考える部員には、高知県が起業をサポートする「KOCCHI STARTUP PARK(KSP)」への参加を推奨しています。

教育研究部 総合科学系  
地域協働教育学部 講師

須藤 順

博士(経営経済学)、社会福祉士。(独)中小企業基盤整備機構リサーチャーを経て、現職。2017年2月中小企業庁創業機運醸成賞受賞「マイプロジェクト手法を活用した学生向けの起業・新規事業開発支援」。高知県が取り組むKOCHI STARTUP PARK チーフコーディネーター、四万十町地域イノベーター育成など県内外の起業家育成に取り組む。

# つかめ!

高知大  
「起業部」  
~kochi startups club~

# 起業家精神!

## アントレプレナーシップ

### 「マイプロ」を通して やりたいことを見つけよう

起業部の主な活動は、週例月例ミーティング。ここでは「マイプロジェクト」(通称マイプロ)という手法を実践します。



「マイプロは疑問や気になること、やってみたいことをプロジェクトとして立案し、小さなアクションと対話を通じて、自分が実際にうたったことに心が触れるのかを見つけていきます。自分の根源にあるもの、原体験にあるものは何なのか、自分自身を見つめ直すことで、本当にやりたいことを見つけ出すのです。やりたいことは起業によって叶うことかもしれないし、そうではなくても構いません。起業はビジョンを叶えるための選択肢のひとつであることがわかれば良いと思っています」(須藤先生)

受けることでマイプロに対する気付きを深めていくのです。また、お互いのマイプロを共有することにより、部員たちの間に連帯感が生まれ、仲間のプロジェクトを積極的に応援したいという気持ちが生まれます」

昨年度は、10名の学生が参加。「多様な人と学びを創り出す場を高知市内に設置し、この春からワークショップやコワーキングスペースの提供などの運営をしています。また、起業の成否にかかわらず、活動を通じて大きく成長した学生もいます。昨年度は部員の多くが地域協働学部の学生でしたが、高知県立大学や高知工科大学の学生も参加していました。これからはさまざまな学部や大学から集まり、将来的には高校生も含めて活動していくことも視野に入れています」と、吉用先生は今後の意気込みを語ります。

地域連携推進センター  
域学連携推進部門長 准教授

吉用 武史

兵庫県出身。高知大学農学部生物資源科学科卒業。博士(農学)。独立行政法人科学技術振興機構を経て、2011年度、高知大学に着任。「大学の“知”の活かし方は様々。地域発展に資する新しい取り組みをこれからもどんどん創っていきたい」



コリビングスペース「COUCHI」



### 仲間同士で切磋琢磨し 自分自身を見つめ直す

起業部に入部したのは、同じような志を持っている仲間と切磋琢磨できる環境に身を置きたいと思ったからです。入部前に考えた事業が、高知県のビジネスプランコンテストで賞をいただきました。そんな時、起業部設立の話聞き、同じように起業を考えている仲間たちと一緒にコミュニティを作っていくことが自分の刺激になると思い、入部を決めました。

起業部では毎週、部員が集まって、それぞれマイプロの進み具合や、自分の気持ちの変化などを話し合い、お互いにアドバイスしあいました。他の人の悩みを通して自分の置かれている状況を客観的に見ることができ、ほかの人へのアドバイスが自分にも当てはまることとして跳ね返ってくることも多かったです。

実は僕が考えていたビジネスプランは今、保留状態です。というのも、事業が本当に自分のやりたいことではなく、他者から評価されることを意識したプランであることに、マイプロをやっている気が付いたからです。1年間、マイプロを通して自分と向き合った結果、プロジェクトをとりあえず寝かせることができる余裕が生まれたのだと思います。

部員が起業したコリビングスペースに、運営メンバーとして関わっています。このコリビングスペースは、高校生のキャリア支援をするための出会いの場をつくりたい、という思いから生まれました。ここで僕は、マネジメントやチームのタスク管理、経理など裏方の仕事をしています。わからないことだらけですが、自分のやりたいことに集中できる時期と考え、いろいろな人の話を聞いて、自ら勉強を進めていきたいと思っています。



地域協働学部 4年

鈴木 博文 さん



## 教職大学院銘板除幕式を挙行



5月7日に、大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻(教職大学院)の銘板除幕式を、櫻井学長、長岡高知県教育委員会事務局教育次長、奥田理事(教育・国際担当)、本家理事(研究・医療担当)、竹田理事(財務・労務・施設整備担当)、柳林教職実践高度化専攻長ほか関係職員及び院生出席のもと執り行われました。

除幕式では、櫻井学長が「教育現場の課題はたくさんある。高知県教育委員会と連携しながら、管理運営できる人材を送り出してほしい。」、長岡教育次長が「理論と実践を融合させる研究が、高知の教育振興に資することを期待している。」、柳林専攻長が「様々な課題が渦巻く社会に新しい時代の教育を教職大学院と一緒に創っていききたい。」と挨拶しました。

## 新学長が学生とランチで懇談「学長めし」を実施

平成30年4月1日に櫻井克年学長が就任初めての「学長めし」を、4月27日に実施しました。この「学長めし」は、普段、学長と直接話しをする機会がなかなか無い学生達に、大学内の生協食堂で学長と昼食を共にしてもらい、「食」を通して交流してもらうことを目的に平成25年度から開催しています。



4月27日の学長めしに参加したのは、女子フットサル部の学生6名と空手道部の学生2名で、メニューは櫻井学長自らが選んだ「カマンベールチキンカツ+小鉢セット」が用意されました。

最初は少し緊張気味の学生達でしたが、櫻井学長の気さくな人柄に触れ、すぐに場は和み、笑顔と色々な会話が飛び交う楽しいランチの時間となりました。

## 農学部門の藤原拓教授を中心とする共同研究が第44回優秀環境装置表彰「経済産業省産業技術環境局長賞」受賞

農学部門の藤原拓教授を中心として、高知大学・高知市上下水道局・日本下水道事業団・メタウォーター株式会社の4者により、国土交通省の下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)に採択され、共同開発した「無曝気循環式水処理装置」が第44回優秀環境装置表彰「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞しました。



本技術は、既存の下水処理施設内に前段ろ過施設・散水担体ろ床・最終ろ過施設等からなる施設を設置して、送風機による曝気を行わずに下水処理を行う省エネ型水処理技術であり、汚泥発生量の減少による維持管理費削減も期待できる低コスト技術として、今後の普及促進が期待されます。



監修とデザインを地域協働学部の吉岡一洋准教授、教育学部の野角孝一講師、地域協働学部3年榎原桃伽さんが担当し、高知大学と郡頭神社棒打絵馬保存会(高知市鴨部)、絵金蔵、創造広場アクトランド、高知県立美術館との協働による書籍「地域の絆」芝居絵屏風」を発行しました。

本書の作成は、地域の祭礼文化がどのような現状にあるのかを調査・サーベイニングすることから始まり、芝居絵屏風を研究することも行いました。大学教員と学生、研究機関、地域住民という異なる立場の3者が、地域芸術の維持保存活動に向けて、本づくりというカタチで協働・創造できたことは、地域の芸術文化振興の一助となりました。

教員と学生が  
監修とデザイン担当  
書籍「地域の絆・芝居絵屏風」刊行

## 第72回中国四国学生陸上競技対校選手権大会 教育学部3年 山中映莉華さんが女子三段跳で優勝

5月11日～13日に高知県春野総合運動公園陸上競技場において、第72回中国四国学生陸上競技対校選手権大会(主催:中国四国学生陸上競技連盟)が開催され、本学陸上部の山中映莉華さん(教育学部3年)が女子三段跳びで自己記録を更新して優勝しました。

この大会は、中国四国地区の48大学911名が参加し熱戦が繰り広げられ、山中さんは種目の優勝者として9月に開催される全日本学生陸上競技対校選手権大会(全日本インカレ)の出場権を獲得しました。また、山中さんは女子走幅跳でも2位となりました。本学陸上部は、男女あわせて8種目に入賞しました。



### 受賞者一覧

女子三段跳	山中映莉華さん(教育学部3年)	1位
女子走幅跳	山中映莉華さん(教育学部3年)	2位
女子10000競歩	糸山未歩さん(人文社会科学部1年)	4位
男子110mハードル	田中春紀さん(人文社会科学部3年)	4位
男子十種競技	菅沼拓都さん(農学部4年)	5位
女子10000m	朝日佳奈さん(文学部4年)	6位
女子400mハードル	大塚彩未さん(人文社会科学部2年)	7位
男子200m	横山新太郎さん(大学院教育学専攻2年)	8位

## 剣道部男女4名が中四国代表として全日本学生剣道大会に出場!

5月20日に愛媛県武道館において、第65回中四国学生剣道選手権大会及び第50回中四国女子学生剣道選手権大会(主催:中四国学生剣道連盟)が開催され、本学剣道部の男子3名、女子1名の合計4名が、学生剣道の最高峰である「全日本学生剣道選手権大会」(7月7日～8日:日本武道館)への出場を決めました。

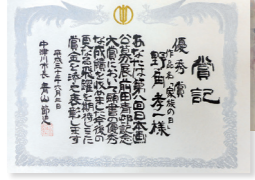
この大会は中四国学生剣道連盟所属する大学(男子35校、女子33校)から選抜された男子256名、女子128名によるトーナメント形式による個人戦であり、全日本学生剣道選手権大会の予選を兼ねており、男子16名、女子10名の全日本出場権をめぐる熱戦が展開されました。

本学剣道部で全日本学生選手権大会の出場権を獲得したのは、男子が、谷口拓馬(教育学部3年)さん、黒岩和健(教育学部3年)さん、瀧澤國成(教育学部1年)さん、女子が、三村莉穂(教育学部2年)さんで、男女4名が同時に出場するのは創部以来初のことです。



## 教育学部 野角孝一講師 第8回前田青邨記念大賞展優秀賞を受賞

教育学部の野角孝一講師が、第8回前田青邨記念大賞展において優秀賞を受賞しました。「前田青邨記念大賞」は、近代日本画壇の発展に大きな貢献を果たした前田青邨の功績を顕彰するとともに、日本画の創作活動を推奨するため、平成14年度から開催しており、出品した「家族の日」は明るい色彩などが高く評価され優秀賞を受賞し、中津川市の帰属となりました。



## 「高知大学修学支援基金」への寄附のお願い

本基金は、修学意欲を持ちながら、厳しい家計状況によりそれを断念せざるを得ない学生に対して給付する奨学金として活用します。



お問い合わせ先 高知大学総務部総務課 TEL:088-844-8100 FAX:088-844-8738  
E-mail: sj02@kochi-u.ac.jp URL: http://www.kochi-u.ac.jp/

「高知大学修学支援基金」及び「高知大学さきがけ志金」(教育・研究・社会貢献活動による支援)に寄附を行う際に、インターネット決済サービスによる「クレジットカード決済」、「コンビニ決済」、「Pay-easy決済」がご利用いただけます。

## 高知大学 古本募金

読み終わった本で高知大学をご支援ください。高知大学古本募金は、皆様から読み終わった本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額が高知大学に寄附される取組です。古本募金を通じて集まった寄附金は「高知大学さきがけ志金」として受け入れ、本学の教育研究・社会貢献活動の向上のために役立てられます。

読み終わった本やDVDを、各キャンパス図書館に設置されている回収ボックスに入れていただくか、5冊以上で段ボール箱に詰めて、電話または専用ウェブサイトからお申し込みいただけますと宅配業者が伝票をもって引取に伺います。





高知大学で開催するイベントをご紹介します。

# イベントインフォメーション Event information 2018 Summer 夏号

## オープンキャンパスのお知らせ

Open campus 2018

### 朝倉キャンパス

#### 8/4(土) 人文社会科学部 10:00~15:00

●コース紹介 ●模擬授業 ●教員と学生の交流 ●相談コーナー ●キャンパスツアー

(詳しくは、人文社会科学部ホームページをご覧ください。)

<http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>



大学の学びに  
ふれてみよう!

#### 8/4(土) 理工学部 10:00~15:00

●学部紹介 ●学科構成と入試概要 ●わたしの大学生活(先輩の話) ●パネル展示と入試相談コーナー ※理工学部1・2号館、情報科学棟、地震観測所、水熱化学実験所(附属施設は自由に見学できます。)

#### 8/5(日) 教育学部 10:00~15:00

●入試と学部の説明会 ●進学相談 ●各コース企画(コース紹介、ミニ講義等)

#### 8/4(土)・5(日) 地域協働学部 10:00~15:00

●学部説明 ●学生による学びの紹介 ●入試概要説明・相談 ●演習体験 ●学生との交流 (両日共に同じ内容です)

#### 8/4(土) 土佐さきがけプログラム 10:00~15:00

■グリーンサイエンス人材育成コース  
■国際人材育成コース  
■スポーツ人材育成コース

●相談コーナー ●授業体験 ●留学報告 ●トレーニングルームでのデモンストレーション

#### 8/4(土)・5(日) 全学企画

■保護者向けガイダンス  
就職・奨学金・授業料免除関係の説明を行います。  
■サークル紹介 ■なんでも相談コーナー  
■寮見学 ■男女共同参画できらめく未来コーナー

### 岡豊キャンパス

#### 8/5(日) 医学科 13:00~16:30

【医学科紹介】 ●附属病院の紹介 ●模擬授業 ●教員・在学生への質問コーナー ●スキルラボ実習体験 (◎はホームページから事前予約が必要です)

#### 8/5(日) 看護学科 9:45~12:00

【看護学科紹介】 ●カリキュラム説明 ●台湾大学短期留学体験 ●実習室見学・体験 ●教員・在学生への質問コーナー

### 物部キャンパス

#### 8/5(日) 農林海洋科学部 9:00~16:00

●個別相談 ●学部紹介 ●専攻領域・コース説明 ●実験室・研究施設見学 ●ラボツアー ●日章寮(男子学生)見学ツアー ●在学生による学生生活紹介

### イベント情報

#### 10/6(土)・7(日) 岡豊キャンパス 第38回南風祭

医学部の学生が色々な楽しいイベントを企画します。今年の学祭もよろしくお祈りします!



年に一度のお楽しみ!!

#### 11/3(土)祝 物部キャンパス 物部キャンパス一日公開

地域の特産品、農作物の販売や人気のトレーラー体験コーナーをはじめ、大学を身近に感じられる催しが一杯です。お問い合わせの上、是非お越しください。



#### 11/3(土)祝・4(日) 朝倉キャンパス 第69回黒潮祭

今年も沢山のイベントを企画して、皆様の来校をお待ちしています。



家族で楽しめる催しもいろいろ!

#### 8/10(金)・11(土)祝 よさこい祭りに今年も学生チーム参加!

学生よさこいチームでは、叢雲、粋恋、旅鯨人、醫、南溟寮、日章踊り子隊、炎、学生合同なぶらが参加予定。ぜひ、応援をお願いします。

#### 第9回 11/4(日) ホームカミングデー

今年も、黒潮祭と同時開催です。卒業生の皆様の多数のご参加をお待ちしています。

様々なイベントをご用意しています!



**メルマガ配信中!**  
月2回配信(第2・4金曜日)

高知大学からメルマガを配信しています。大学ホームページの「入試情報」「メルマガの登録はこちら」へ! 登録はこちら <http://daigakujc.jp/kochi-u>



### 高知大学の最新情報を伝えたい THE こうち ユニバーシティ CLUB

FM 高知  
81.6MHz

毎週日曜日 放送中  
(9:30~9:55)

番組ブログからも視聴できます!

<http://kochiuniversity.seesaa.net/>  
高知大学の教育、研究、地域貢献等のホットな情報をお届けします。

スポンサー企業 / ソフテック



●お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



**高知大学**  
Kochi University

高知大学総務課

高知大学  検索

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

TEL.088-844-8643 FAX.088-844-8033

〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail:kh13@kochi-u.ac.jp